



第351地区

# 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

◎ゲスト 函館商工会議所会頭 辻 才次郎氏 (函館東R.C.)

◎会長報告 戸栗 力会長

本日は特別にご座居ませんので、ロータリー情報として出席に付いて一寸話します。クラブ定款により毎週定例日、例会を開く事に決めて居りますが、非常の場合又は正当な理由がある場合は、例会を同じ週の他の日又は定例日の他の時間、又は他の場所に変更することができ、次の場合は例会を取消することが出来ます。①例会日が決定休日に当る ②全地域社会に亘って流行病又は災害の発生 ③会長が死去した。

メークアップ制度に付いては、ご存じの通り所属クラブ例会に欠席した場合に、欠席した日の直前のそのクラブ例会の定例時刻と、欠席した日の直後の例会の定例時刻との間に他クラブ例会に出席すれば欠席した例会の出席補填と認められます。尚、来週のように21日の例会が合同例会で23日変更された時の基準日は21日でなく23日となります。

◎幹事報告 広瀬 芳男幹事

- ・来週の例会は21日の創立記念合同例会となりますのでご注意ください。
- ・各テーブルに合同例会の出席名簿を廻して居りますので、出席者はご記名下さい。
- ・I.C.G.F.の総務・企画担当の方は例会終了後若干のお時間お残り下さい。

◎親睦活動委員会 中野 亮副委員長 ★ニコニコボックスの報告★

田中会員=なんとなく ・伊藤(康) ・中野(国)会員=ホームクラブ欠席のお詫び  
・川村(邦)会員=雑誌『函館財界』にパイプのことで写真が載りました。  
☆以前から申上げて居ります今週土曜19日当クラブの麻雀大会に、現在18名のお申込みを戴いて居りますが、まだお申込みでない方はお帰りにお申込み下さい。

◎卓話 激動の商業活動、函館商工会議所会頭 辻 才次郎氏

- ・函館の体質は、一次産業全国標準10%函館0.71%、二次産業全国標準35%函館27.7%、三次産業全国標準55%函館71.59%で、全国標準と比較して一次・二次産業が非常に少なく、圧倒的に三次産業が多く、一次産業出荷額2千億円・二次3千億円・三次2千億円のパターンとなって居り、工業出荷額の好調の年は卸・小売共に正比例して好調でありますことから、今後一次産業の誘致と二次産業の育成をすることで人口が増え小売業の発展に繋るので、この点を充分考慮して仕事を進めます。
- ・大型店舗進出が問題となって居るが、商工会議所は中・小企業の育成が柱であり、大型資本の進出を単に反対するものでなく地元企業と充分の調整を計り、中・小企業の擁護・消費者の利益保護・流通の近代化の三点と使用電力が毎年15%アップして居るのに発電能力10%で、予備電力20%を必要とするのに9%よりないことから、道南に是非火力発電所の誘致を進めて行く計画です。皆様方のご協力をお願い致します。(主旨)  
辻会頭さん大変ご多忙の処有難うご座居ました。益々のご活躍をお祈り致します。  
文責=中野(国)

◎出席報告

会員数	69名	出	函館北(2/9)	94.20%
出席	53名		函館東(2/1)	97.87%
欠席	16名	席	函館(2/3)	94.53%
他クラブ出席	12名		函館五稜郭(2/4)	100%
出席合計	65名	率	亀田(1/31)	88.57%
出席除外者	0名			

次回例会日 3月3日

プログラム 最近の経済と金融情勢について、  
日本銀行函館支店長 木村 太郎氏

SERVICE, I BELIEVE IN ROTARY

奉仕、ロータリーを私は信奉する!

(R.I.会長 ロバートA.マンチエスターⅡ)

第637回例会

1976~1977 第33号 1977. 2. 21



駒井幸一分区代理



谷龍治先生



戸栗力会長

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム

R.I創立記念市内5クラブ合同夜間例会

第636回例会記録

◎司会 戸栗 力会長

◎斉唱 国歌・奉仕の理想

◎ゲスト 谷藤喜代治氏 函館市立潮見中学校々長

◎会長報告 戸栗 力会長 (北R.C.)

本日はR.I.創立72周年記念市内5クラブ合同夜間例会であります。今回は北R.C.がホストをつとめることになりましたので、僭越ではございますが、私が司会をつとめさせていただきます。

せて戴きます。

会長報告として仙台南R.C.榎戸 由授氏が以前「ロータリーの友」に「小さな世界社会奉仕」と言う小文を寄稿されましたものを少しご紹介致します。

それは榎戸由授氏がヨーロッパ旅行された時、イスタンブールでメーキャップ致した訳ですが、その時の様子、受けた印象、ロータリーの在り方等書いております。その会場には日本人を含む12、3人のビジターが、会長報告でイスタンブール東方で大地震が発生し、3,000名以上の死傷者が出たとの話を聞き、日本人5名は相談の上お見舞金を贈りましたところ、「会長がその報告と、お礼を述べると会場に大拍手が起ったが、紹介の時とは違い、親睦と感謝に満ちた暖かい感じの大拍手であった。言葉の不自由さを越えた小さな世界社会奉仕である」(原文)と書いておりました。その後会員のスピーチがありますが、内容は省略致しまして、最後に「ここで学びとらねばならぬことは、例会の終了まで只一人の退席者もなかったことだ。もちろんビジターを含めてのことだ。私の海外での数度の経験では途中退席者を見たことはない。途中退席は日本だけ否、日本の都会だけの現象であろうか」(原文)と結んでおりました。

途中退席につきましては耳の痛いことでもあり、本席でのお話として必ずしもふさわしいとは考えませんでしたけれど、ご案内の通り6日後に第7分区のI.C.G.F.があります。北R.C.がホストになっており、リハーサルの意味もこめまして、ぶしつけにご紹介させて頂きました。

今日の合同例会の企画・運営・その他の準備は全て函館R.C.の葛西会長さん、村上幹事さんを始め皆様のご協力によるものでございます。この席をお借りしまして心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

#### ◎第351地区第7分區 駒井幸一分区代現(北R.C.)挨拶

今から72年前の1905年、その頃経済状況で人心の荒れすさんでいたアメリカ社会、特にシカゴの状態を憂えた青年弁護士ポール・ハリスが奉仕の精神によって人の和をはかることこそ、よりよい社会をつくりだす道であると考え、3人の友人と語らって2月23日、この理想を広く人々に呼びかけようと、第1回の会合をひらいたのがロータリークラブの誕生であります。ロータリーとは、会員が持ち廻り順番に、集会を各自の事務所で行ったことから名付けられました。この理想は着実に成長し、現在151国家および地域にひろめられ、クラブ数795,000名に達しております。我国のロータリークラブの歴史は……(省略)。

第351地区ではクラブ数54、会員数3,251名、第7分区ではクラブ数10、会員数557名函館市内では5クラブ、393名の会員となっております。

又、国際ロータリーの財政を見ますと、収入927万ドル・27億8千万円、支出754万ドル・22億6千万円となっております。

我々ロータリアンは地域社会に於いて、業界に於けるリーダーとしての誇りをもって奉仕活動に努力して居りますが、国際的にはロータリー財団を作り、海外留学生・研究グループの交換として毎年1,300名を動員し、620万ドル・18億6千万円を費しています。この他青少年交換計画による海外生活青少年は昨年6,200名に及んでおります。

さて、ひるがえって我々の現状を見ますと、青少年の非行・無差別な殺人の横行・贈収賄・企業の反社会性・非常に嘆はしい状況にあります。これは急激な高度成長に走り物質文明・機械文明にドブブリ漬り、精神面・道徳面をおろそかにした結果とも考えられます。

我々ロータリアンは72年前青年弁護士ポールP・ハリスが憂えた社会の是正に身を挺した創立の精神に思いを致し、次の時代がよりよい明るい世代になりますようロータリアン各位のお力を結果し、奉仕活動にご尽力下さる様此機会にお願いしたいと存じます。終りに各クラブに発展と各位のご健祥をお祈りしてご挨拶と致します。

#### ◎講演者紹介 能登 幸恵氏(函館R.C.)

本日お話ししていただく谷龍治先生こと、函館市立潮見中学校々長、谷藤喜代治先生を御紹介致します。

私は永らくペンネーム谷龍治と言う作家がどなたかということを知らないで尊敬すべき作家の十人に加えていました。道新創立30周年記念会小説「ウ・ワスクリセーニエ」の連載はもとより、随筆、思い出等を読みました。作家谷龍治先生が潮見中学の谷藤校長であった事を先月の道新の新刊本紹介に載るまで、ウカツにも先らずに居たのです。

合同例会の講演の相談をうちのクラブの会長が受けた時、即谷藤先生を推せんしました、この時は一面識もありませんでしたが、只強く小説の印象があったからです。小説の良さとスピーチの上手下手は別ものですが、作家のヒューマニズムが美しいロマンの心が作家自身の言葉として、又抑留生活という特殊な体験を通じて見られた日本及び日本人の心についてお話をしていただけなら皆様にも喜んで聴いていただけたらためです。此度北書房から出版された先生の最新刊本も一度読みかえし、感銘をあらたにした次第です。皆様にも是非御購読の程をおすすめ致します。

先生は大正10年のお生まれで、函館師範学校卒業後法政大学文学部へ進まれ、昭和16年よりより教職につかれ、昭和20年3月大戦末期応召、エトロフ島の守備につき、終戦後ソ連沿海州地区に抑留、約3ヶ年の収容所生活を体験されて、復員して来られました。

教職のご経歴は森・尾札部・函館市内の小・中学校を経てへき地の日高町に3年程、そして現在潮見中学校長として帰任されました。文学歴は師範学校在学中から小説・随筆等数度にものを発表され、文学界及び小説現代の新人賞候補として数度、一次・二次予選を通過しておられます。現在北海道詩人協会々員、北海道文芸の顧問をなさっておられます。では、先生のお話をゆっくりと排聴することに致しましょう。

#### ◆「忘れられた日本の心」函館市立潮見中学校々長 谷藤喜代治先生

日本人というのははまことに不思議な民族である。クリスマスの頃になると一様にクリスチャンになり、年の暮には除夜の鐘を聞き、神道に早替りして神参りをし拍手を打ち臨終になるとあわてて寺の門を叩き、目をつぶってから既にこの世の人でない死者の枕元で経を読む。誰かが帽子をかぶると皆一様に帽子をかぶり、誰かがブーツをはくと猫もしゃくしもブーツをはく。熱しやすくさめやすく、右から左までの思想を自由に叫び反面勤勉、器用、忠実、そしてGNP世界第二位の実力を保ち日本人の意気を全世界に示しながら有色人種を蔑視し白人を崇拜する。同じ日本人でありながら益々不可解さを増すこの頃です。

大分以前ですが、私は九州を訪れたことがあります。五家荘を尋ねるつもりでしたが九州山地にある同地は不便なので、やむなく南の人吉から川辺川沿いに五木の里を尋ねました。山間へき地の中学校に勤める先生達に傾ける情熱や、北海道話に目を輝かしていた生徒の表情、道端の柿の実のたわわな様相などが忘れられません。宮本旅館別館と称するひなびた家にわらじの紐を解き、五右衛門風呂に入り自家製のみそ汁をすすり、手伝いの女の子のむいてくれた「キャアロ」という柿をほうばった思いは、そこに住む人の心の暖かさと共に忘れられない思い出です。この里も近く湖底に沈むそうですが悲しいことです。

昭和20年8月15日、私はエトロフ島守備隊にありました。玉砕を覚悟していたのですが、生命長らえてソ連沿海州に送られました。武装解除にあたったソ連の少年兵が私の身体をまさぐりながら、手をふるわしていたのが印象的です。抑留されて始めて日本の敗れた要因が判りました。その土地で見たのはUSAのマークのついたぼう大な量の武器や食糧でした。ソ連がドイツを破り日本をおし倒したのはアメリカの物量のお陰と言えましょう。要するに精神力だけでは物事に打勝つことの出来ないのが現代社会なのでしょう。そして、個人的に接したソ連の人の大陸的な大らかさも、厳しい国家体制の陰に隠されてしまうと冷酷なものに写ることを知りました。人間が社会に吸収されるのでしょうか。そんな中で、私はラトビア貴族の娘ヴェルタとその母を知りました。

対協協力者として補えられ軟禁されていた彼女等と会い、話したのはほんの2、3度



# 函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

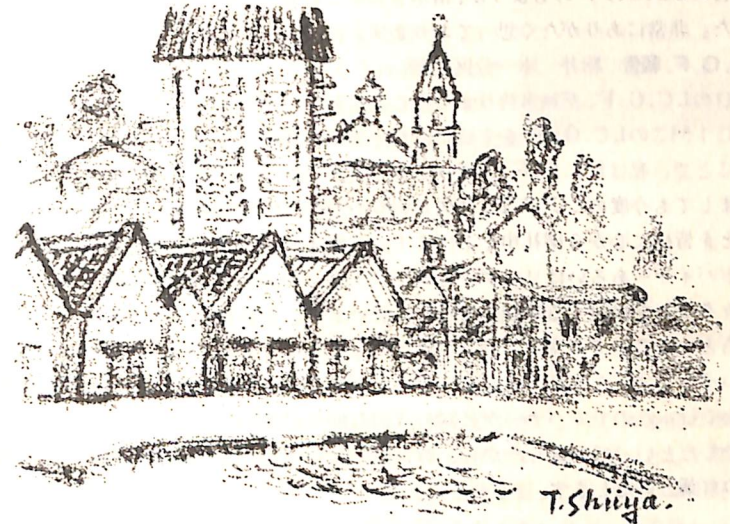
SERVICE, I BELIEVE IN ROTARY

奉仕、ロータリーを私は信奉する！

(R.I.会長 ロバートA.マンチエスターⅡ)

第638回例会

1976~1977 第34号 1977. 3. 9



東 浜 界 限

椎 谷 龍 彦 会 員

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30 例会場 国際ホテル  
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 電話(0138)23-3870

本日のプログラム  
ロータリー情報、  
吉井 政嗣会員・森 秀樹会員

## 第637回例会記録

- ◎司 会 戸栗 力会長
- ◎斉 唱 国歌・奉仕の理想
- ◎ビジター 函 館 R.C. 川端 久雄君 他3名
- 函館東R.C. 山中 一君 他1名
- 五稜郭R.C. 山内 陽平君 他2名

でした。ある雪の日、作業途中に出合ったヴェルタと手をふって別れたのが最後でしたが、ネックチーフに頬を包み毛皮外套に身を包んで雪の中に立っていたその姿は私の中に生きていて、それはやがて「ウ・ワスクリセーニエ」（日曜日）の世界へ私を運んだのです。その小説の中で生きた私、とヴェルタは、幸いにも道新日曜版で日のあたる場所を見出し、ついでその続篇と共に今般一冊の本となって世に顔を出すことが出来ました。

その主人公「私」を日高のへき地に追いやって彼の回想譜とした現実の私が、作品完了後、創作として設定した同じ場所に転任するなどは思いもよらぬことでした。しかしその日高のへき地で得た色々な思い、過疎の中に生きている古き良きもの、人間の原点に立ってなお脈打つものを深くかみしめ得たことは、最大の喜びでした。

戦後僅か30年余でここまで発展した日本は、その古さを惜しげもなく破壊し、世界の成り上がり者になってはいないでしょうか。古来からのわびやさび、義理や人情はどこへ行ったのでしょうか。最近の秘境ブームは何を物語っているのでしょうか。

忘れられた日本の心をゆり動かすために、ロータリアンは今何をなすべきか。それは恵むのではなく掘り起こす、のだということ再提起して結びといたします。

### ◎謝 辞 下郡山信一副会長（北R.C.）

大変良いお話、途中で胸がいっぱいになるようなお話しでした。今回の合同例会の講演を企画された方々、又プログラムの中で私に謝辞を述べるようにと指名された方々は恐らくはご存知でなかったらと思います。全くの偶然なのですが、私と谷藤先生とは函館師範の同期なのでございます。年に度々、本当に度々飲み合う仲なのでございます。生来のテレ屋の私は、スナナリ改まった言葉で謝辞が出て参りません。どうぞお許しただきたいと思つています。そこで私は敢えてロータリーの友愛の精神にうったえまして更に今日谷藤先生の著書「100冊程持って来ております。「谷お前の書いた本、沢山持ってこいや、俺一生懸命売ってやる」と約束致しました。受付で私に買わされた方が大勢いらっしゃる筈でございます。私は先生の本を自信をもってお奨め出来ます。今日先生がお話しされたお考えが、ロマンの香りにつつまれながら、随所に実に良く現われていると思つています。読みようによっては甘いなあと言う感じを持たれるかも知れませんがこれこそ国際親善に欠かせない精神がピッシリ詰っていると自信をもって言うことが出来ます。どうぞお読みになってお確かめ下さい。是非買ってやって下さい。この言葉をもって謝辞に替えさせていただきます。谷藤先生大変失礼な謝辞となりましたが、どうかお許しいただきたいと思つています。大変ありがとうございました。

文責=大島

### ◎出席報告 西巻出席委員長（北R.C.）

ゲスト1名 函館R.C.85名 函館東R.C.66名 五稜郭R.C.42名  
亀田R.C.22名 函館北R.C.55名 出席合計 271名

次回例会日 3月9日

プログラム 函館と200カイリ  
水産会社々長 森岡 勝氏